事業所職員向け

**放課後等デイサービス自己評価表**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
| 環境／体制整備 |  | 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか |  | 1 | 4 | 一人当たりのスペースは物の配置を考え工夫はしているが十分ではない。  広さが足りていないと感じる |
|  | 職員の配置数や専門性は適正であるか |  | 3 | 2 | 職員数の増員、または利用者数の整理が必要。  ケア内容や送迎等を考えると人員不足を感じる。  PT、STが来て下さり専門的支援の幅が広まったが職員の配置数は足りていないと感じる  曜日により厳しいい日もある、長期休みの際は全く不足している |
|  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。 | 4 | 1 |  |  |
| 業務改善 |  | 業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 1 | 3 | 1 | 取り組む職員に偏りがある。  改善内容についてはミーティングなどで周知している |
|  | 保護者等向けの評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | 1 | 0 | 評価表を受けてショートステイが始まり利用される方も増えてきた |
|  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 5 |  |  |  |
|  | 第三者による外部評価を行い、評価を業務改善につなげているか |  | 5 |  | 外部評価がない |
|  | 職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保しているか | 3 | 1 | 1 |  |
|  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 1 |  | 計画しているが実施できた居ないことが多い。 |
|  | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか |  | 3 | 2 | 標準化されたものがあるのかどうか分からない |
| 適切な支援の提供 |  | 活動プログラムの立案をチームで行なっているか | 2 | 2 | 1 | 活動係はあるが、毎月の会議もできておらずしっかりと立案できていない |
|  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 1 | 4 |  |  |
|  | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 2 | 3 |  |  |
|  | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 1 |  |  |
|  | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行なわれる支援の内容や役割分担について確認しているか | 4 | 1 |  |  |
|  | 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行なわれた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 2 | 1 | 2 | その日のうちにはできないが事が多いが、翌朝のミーティング等で話し合いの場を設けている  付箋の使用。 |
|  | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 2 | 2 | 1 | ヒヤリハットや、子どもたちと関わっての気づきや嬉しかったことを付箋に記入し、支援計画に繋げようとしている  日々の業務の中で記録を取る時間がない |
|  | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | 1 |  |  |
|  | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか |  | 5 |  | 。 |
| 関係機関や保護者との連携 |  | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 5 |  |  |  |
|  | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 5 |  |  |  |
|  | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 5 |  |  |  |
|  | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解をに努めているか | 5 |  |  | STやPTが保育園訪問するようになり、情報共有は以前より深まった。 |
|  | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか | 5 |  |  | 同事業所のため |
|  | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか |  | 4 | 1 |  |
|  | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか |  | 1 | 4 | 長期休みの時など、地域の子ども、スタッフの子どもと交流している。 |
| ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 4 |  | 1 | 児童部会への参加 |
| ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの状況や課題について共通理解を持っているか | 5 |  |  |  |
| ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行なっているか | 2 | 3 |  |  |
| 保護者への説明責任 | ㉚ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか | 3 | 2 |  |  |
| ㉛ | 保護者からの療育の悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか | 5 |  |  |  |
| ㉜ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 4 |  | 1 | 親の会の担当職員を決め、一緒に参加したり、連携を取ったりしている。 |
| ㉝ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | 1 |  |  |
| ㉞ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に対して発信しているか | 4 |  |  | 今年度は不定期となった。  発行が遅れることがある。 |
| ㉟ | 個人情報の取扱に十分注意しているか | 5 |  |  |  |
| ㊱ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 |  |  |  |
| ㊲ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 1 | 3 |  |
| 非常時等の対応 | ㊳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 3 | 1 | 1 | 保護者にまで周知されていない  訓練はお知らせしている |
| ㊴ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行なっているか | 4 | 1 |  | 火事想定の訓練は定期的にしている  他の災害があまり出来ていない。 |
| ㊵ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 4 | 1 | 1 | 十分とは言えない |
| ㊶ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、利用者や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか | 5 |  |  |  |
| ㊷ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 |  |  |  |
| ㊸ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 |  |  | ヒヤリハットの報告数が少ないため気軽に報告できる方法を模索中  今年度は付箋を使用し小さなヒヤリでも記録に残すように工夫で来た。 |